

愛媛大学看護研究雑誌投稿要項

[平成 30 年 10 月 1 日制定]

[令和 6 年 8 月 1 日改訂]

1. 趣旨

愛媛大学看護研究雑誌（以下「本誌」という。）は、愛媛大学大学院医学系研究科における看護学の教育研究活動の活性化および発展に資するために、その成果を発信する。

2. 名称

本誌の名称は、和文名で愛媛大学看護研究雑誌、英文名で **Journal of Ehime University Nursing Research** とする。

3. 編集・発行

- (1) 本誌の編集、発行に関する責任は、愛媛大学看護研究雑誌編集委員会（以下「編集委員会」という。）が行う。
- (2) 本誌は、原則として、年 1 回 3 月に発行する。
- (3) 本誌は、電子公開とする。

4. 投稿資格

投稿者は、本看護学専攻の教員・大学院生・修了生、看護学科の学生・卒業生、看護学専攻および看護学科の非常勤講師、愛媛大学医学部附属病院の看護師とする。ただし、本看護学専攻の教員が共著者となる場合、学外者も投稿資格を有する。その他、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。共著者は、投稿された論文に重要な知的貢献をした者であり、すべての著者が内容について承諾していることとする。

5. 論文の種類

論文の種類は、総説、原著、研究報告、実践報告、資料であり、それぞれの内容は以下のとおりとする。なお、論文は、未発表あるいは未投稿のものに限る。また、本誌投稿中に他誌への投稿をしてはならない。

- (1) 総説 看護学の特定のテーマについての知見を総合的に概説し、論理的に課題を明記したもの
- (2) 原著 独創的で新たな知見が論理的に示されたもの
- (3) 研究報告 内容において原著論文の条件は満たさないが、研究結果を系統的に記述し、看護学の発展に寄与するもの
- (4) 実践報告 看護学の発展に寄与すると認められる実践についてデータをもとに検証し、その成果をまとめたもの
- (5) 資料 看護に関する資料価値のあるもの、調査や事例から得られた結果をまとめたもの

6. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨を本文中に明記しなければならない。原則として、愛媛大学医学系研究科看護学専攻研究倫理審査委員会またはそれに準じる倫理審査委員会の承認を得て実施した研究でなければならない。

7. 利益相反、

「利益相反」の項を設け、当該研究の遂行において「利益相反」となるような経済的支援を受けた場合にはその旨を記載する。また、利益相反状態が存在しない場合には「本研究における利益相反は存在しない」旨記載する。

8. オーサーシップ

著者の貢献内容を記載する。例) A および B は研究の着想およびデザインに貢献; C は統計解析の実施および草稿の作成; D は原稿への示唆および研究プロセス全体への助言。すべての著者は最終原稿を読み、承認した。(A や B はイニシャルではなく、日本語氏名を記載する)

9. 投稿手続き

- (1) 事前に題目登録を行う。所定の題目登録書に必要事項を記入の上、編集委員会宛てに e-mail で送信する。当該年度発行雑誌の事前題目登録の最終締め切りは 10 月 24 日とするが、随時、受け付ける。
- (2) 当該年度発行雑誌の原稿の最終締め切りは 10 月末日とするが、随時、受け付ける。原稿の受付日は、編集委員会が原稿を受け取った日とする。
- (3) 投稿原稿は、医学部看護学科の愛媛大学看護研究雑誌 Web ページ内にある Forms の申し込みリンクから投稿する。著者が特定される氏名、所属、謝辞等を空欄にし、著者を特定できるような記述を削除した pdf ファイルを提出する。
- (4) 投稿チェックリストを原稿とともに提出する。

10. 原稿の採否

- (1) 原稿の採否は、複数査読を経て、編集委員会で決定する。採否に際し、著者に原稿の種類の変更および原稿の修正を求めることがある。
- (2) 投稿された論文は理由の如何に問わず返却しない。
- (3) 査読回数は原則として 2 回までとする。
- (4) 採用された原稿については、掲載予定証明書の発行ができる。
- (5) 採否の決定後、最終原稿に氏名、所属、倫理委員会の名称、利益相反、謝辞等を明記し、Word と PDF の 2 種類の保存形式で電子媒体に保存し、編集委員会に提出する。

11. 著者校正

著者校正は 1 回とする。ただし、校正の際の加筆は原則として認めない。

12. 著作権

著作権は、愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻に帰属する。原稿提出時に、誓約書および著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、提出する。

本看護学専攻はこれらの著作物の全部または一部、ならびに翻訳、翻案、データベース化等の二次的著作物を、本学ホームページ、機関リポジトリ等、本学が認めたネットワーク媒体での公衆送信、その他の媒体において複製、出版（電子出版を含む）、頒布することができる。なお、著者自身が論文の全部または一部を複製・翻訳、翻案等の形

で利用する場合は、その著作物の出典を明記する限り、これに対して原則的に異議申し立てをしたり妨げたりすることはしない。

13. 費用

掲載料は、規定枚数までは無料とする。別刷はすべて著者負担とする。

付 則

この要項は、平成30年10月1日から施行する。

この要項は、令和元年5月23日から試行する。

この要項は、令和6年8月1日から施行する。

愛媛大学看護研究雑誌 題目登録書

論文の種類	☐ 総説 ☐ 原著 ☐ 研究報告 ☐ 実践報告 ☐ 資料	
論文名		
全著者名*	氏名	所属機関・部署
筆頭著者		
共著者		
共著者		
共著者		
共著者		
共著者		
共著者		
共著者		
共著者		
筆頭著者の 投稿資格	☐ 本学教員 ☐ 非常勤講師 ☐ 本学学生 ☐ 本学卒業生・修了生（ 年度 課程 卒業・修了） ☐ 共著者が本学教員	
連絡先 (氏名・e-mail)		

*査読者選定に必要ですので、全著者の名前を記入してください。

編集委員会受付日	年 月 日
----------	-------

愛媛大学看護研究雑誌 投稿チェックリスト

論文タイトル： _____

※ 以下の各項目について確認し、該当項目の右側チェック欄にチェックして原稿とともに
 1部提出してください。

《タイトル》

1	英文表題は、文頭・語頭（前置詞・冠詞・接続詞以外）を大文字とした	☐
---	----------------------------------	--------------------------

《本文》

2	書式は A4 用紙 40 文字×36 行とした	☐
3	ページ数および行番号（連続）を入れた	☐
4	句読点は「。」と「,」に揃えた	☐
5	和文抄録,（原著の場合）英文 Abstract をつけた	☐
6	Abstract（英語論文の場合本文も）は校正を受けた	☐
7	キーワードを日本語・英語各 3～5 語つけた	☐
8	初出時は略語を用いず完全な用語を示した	☐
9	見出し項目およびその字体はすべて原稿執筆要領に従っている	☐
10	大項目の間は 1 行スペースを空けた。中項目以下は行間をあけず詰めている	☐
11	原稿は制限枚数以内である	☐
12	図・表・写真は番号とタイトルをつけ、原稿末尾にまとめた	☐
13	図・表・写真の挿入希望位置を原稿右欄外に記入した	☐
14	表の文字は最低でも 8 ポイント以上である	☐
15	表に不要な縦線は使用していない	☐
16	本文中の文献表示は、「著者の姓（西暦）」とした。複数著者の場合は「他」または「et al.」で示した	☐
17	利益相反, オーサーシップについて必要事項を記載した	☐
18	全体にわたって誤字・脱字はない	☐

《文献リスト》

19	筆頭著者の姓のアルファベット順に並べた	☐
20	共著者は 20 名まで表記し、それ以上の場合は「他」（英語の場合「et al.」）で表示した	☐
21	外国人名は姓を先に書き、名はイニシャル表記とした	☐
22	各文献に必要な情報を漏れなく記載した。記載の順序も執筆要領に従っている	☐
23	本文中の引用および引用文献リストは、半角の「.」・「,」・「:」・「;」・「/」・「)」を用いる。それらの記号の後には半角スペースを入れる。	☐
24	本文等で参照した文献はすべて文献欄に記載した	☐
25	数字の打ち間違い、スペルミス、漢字の間違い等はない	☐

《査読用原稿》

26	査読用原稿を pdf で用意した（Forms から投稿する）	☐
27	（査読後の修正原稿の提出時）査読者への回答書を作成し原稿に添付した	☐

以上

愛媛大学大学院医学系研究科
看護学専攻長 様

年 月 日

誓約書および著作権譲渡同意書

私が投稿した論文は、下記に記したすべての著者が内容について承諾しており、他の雑誌にすでに投稿および掲載していないことを誓います。

私が論文等を愛媛大学看護研究雑誌編集委員会に提出するにあたり、愛媛大学看護研究雑誌投稿要項に基づき、その論文等にかかる著作権を愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻に譲渡することに同意します。

論文名： _____

論文種類：総説 原著 研究報告 実践報告 資料

著者 全著者が署名・捺印または自書してください。

[illegible]